

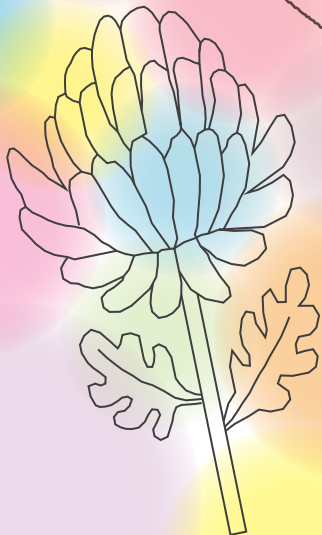


みんなでつくる 豊かなまち日野

～助けられたり助けたり～

〔概要版〕

第5次日野市地域福祉活動計画
(令和3年度～令和7年度)

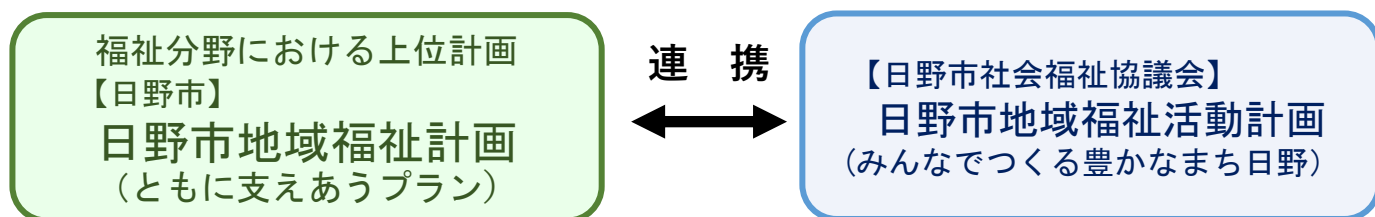


社会福祉法人日野市社会福祉協議会
令和3年3月

○計画の位置づけ

「地域福祉計画」は、社会福祉法第 107 条の規定に基づき、市町村が行政計画として策定するもので、「地域の助け合いによる福祉」を推進するために「理念」と「仕組み」をつくる計画であるのに対し、「地域福祉活動計画」は、社会福祉法第 109 条の規定に基づき社会福祉協議会が活動計画として策定するもので、地域福祉の推進を図るための実践的な活動・行動計画です。

第5次日野市地域福祉活動計画は、第4期日野市地域福祉計画と連携して、市民主体の地域福祉の推進に計画的に取り組んでいきます。



○計画の期間

第5次日野市地域福祉活動計画は、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5カ年計画とします。第4期日野市地域福祉計画や関連計画との整合性を図り、連携して市民主体の地域福祉の推進に計画的に取り組んでいきます。

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第4期 日野市地域福祉計画（日野市）					第5期福祉計画
次 期 策 定					
第4次活動計画	第5次 日野市地域福祉活動計画（日野市社会福祉協議会）				
					次 期 策 定

○計画におけるエリアの基本的な考え方

日野市全域（日野市生活支援体制整備事業における第1層の協議体＆生活支援コーディネーターの設置）

日常生活圏域（４圏域：地域担当〈地域福祉コーディネーター〉の配置）

中学校区（8地区：地域福祉計画で定めるふくし住区）

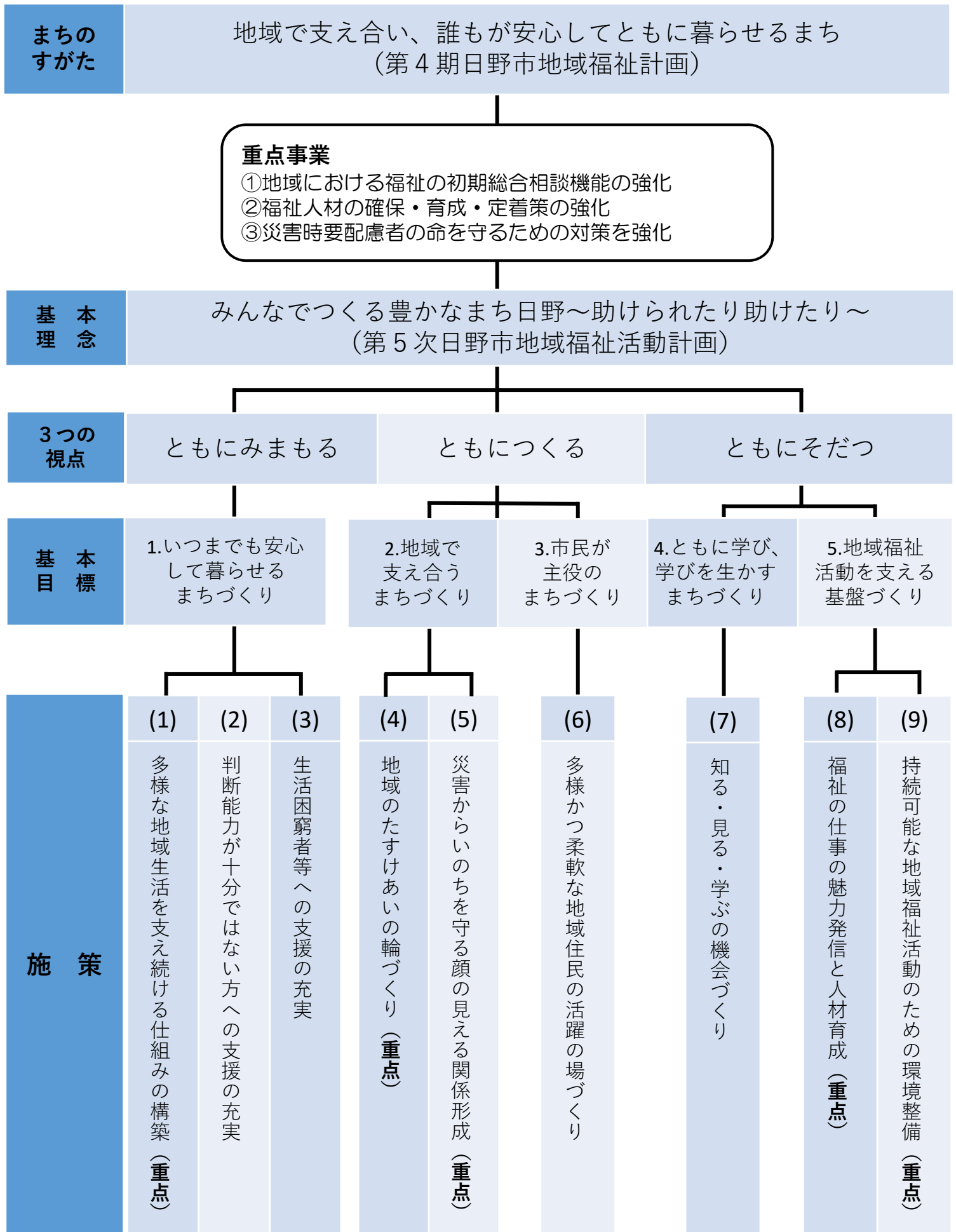
地域包括支援センター（9カ所：第2層の協議体&生活支援コーディネーターの設置）

自治会（238地区） ※令和3年1月1日現在

第1期日野市地域福祉計画より、日野市では地域福祉活動を実践していくための単位を「中学校区」と位置づけ、「ふくし住区」として定め展開しています。本計画においても日野市地域福祉計画で定める中学校区を「ふくし住区」として定義し、地域に分かりやすく様々な市民活動や公共事業との協働を図っていきます。

また、取り組みの内容・活動に適した範囲を検討し、重層的な視点での事業展開に努めていきます。

第5次日野市地域福祉活動計画における施策体系



基本理念・3つの視点・5つの基本目標

1. 基本理念 **みんなでつくる豊かなまち 日野～助けられたり助けたり～**

住み慣れた地域で安心して暮らしを営んでいくために、住民みんなが地域の主役として地域で起こる課題に対し主体的に関わりをもっていく「みんなでつくる豊かなまち」を目指します。

★社会福祉協議会の役割

- 福祉サービスによる「見守り・支援」
- 社会資源とのコーディネートとネットワークづくり・開発
- 地域貢献活動の相談・支援
- 地域福祉活動の推進・普及啓発



☆市民・地域の関わり

- 介護予防や健康づくりへの参加
- ボランティア活動への参加・協力
- できる範囲で地域貢献
- 地域情報収集・発信



☆市役所等公的機関の役割

- 制度や市民サービスに基づく直接的な支援やサービスの提供
- 地域や団体、事業者等の活動が円滑に行われるための環境整備



2. 3つの視点と5つの基本目標

◇ 視点1 とともにみまもる

■ 基本目標1 いつまでも安心して暮らせるまちづくり

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生活の中での様々な課題を解決していくための福祉サービスの充実を、地域の強みを活かしながら図っていきます。

また、市民の権利を守り、適切な福祉サービスが利用できるよう相談支援体制づくりを進めていきます。

◇ 視点2 ともにつくる

■ 基本目標2 地域で支え合うまちづくり

地域が抱える課題に対して、同じまちで暮らす人同士が協力して解決に向けた支え合いが生まれるよう地域の交流や話し合いの場づくりの充実を図ります。

■ 基本目標3 市民が主役のまちづくり

誰もがボランティア活動や地域に関わることを通じ、生きがいややりがいを見出し、市民一人ひとりが「地域の一員」として、ボランティア活動に加わるまちづくりを目指します。

◇ 視点3 とともにそだつ

■ 基本目標4 とともに学び、学びを生かすまちづくり

地域福祉への理解を深め、これからの地域を支える人材育成のため、福祉体験講座や多様な研修の機会を通じて福祉教育の充実を図っていきます。

■ 基本目標5 地域福祉活動を支える基盤づくり

地域福祉活動を推進するため福祉環境を整備するとともに、市民からの多様なニーズに対応できる相談支援機関としての機能向上を図ります。

基本目標 1. いつまでも安心して暮らせるまちづくり

施策（1）多様な地域生活を支え続ける仕組みの構築（重点）

1. 協力者募集とアフターフォローの推進
2. 日常生活圏域ごとの相談窓口による一体的な受付
3. 地域生活支援の相談支援体制の充実

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

在宅高齢者ケアサービス事業



在宅で支援を必要とする高齢者に、掃除・洗濯などの家事援助を行う福祉サービスです。利用する人と協力する人が相互に会員となってサービスを提供する仕組みです。

コミュニケーション支援事業



ヘルパーと耳の聞こえない方の意思疎通を支援する手話通訳者

聴覚等の障害のため意思疎通を図ることに支障がある方に対し、手話通訳者又は要約筆記者を派遣し、その方の意思疎通の円滑化と日常生活及び社会生活の利便の向上を図れるよう支援することを目的としています。

施策（2）判断能力が十分ではない方への支援の充実

1. 地域福祉権利擁護事業の強化
2. 成年後見制度の利用促進
3. 市民による当事者支援の充実

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

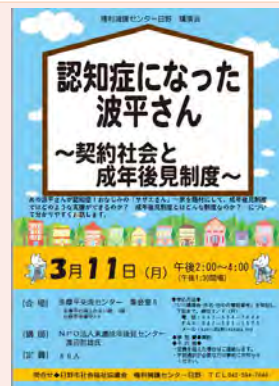
地域福祉権利擁護事業



認知症や知的障害、精神障害など判断能力の低下がみられる方を対象として、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理サービス等を通じて、利用者の生活を支援しています。

成年後見制度利用支援

市民からの相談を受け成年後見制度の利用支援を行い、また講演会を行うなど制度に対する市民の理解を深めてきました。専門職や関係機関との連携や、市民後見人養成や後見監督業務も行っています。



施策（3）生活困窮者等への支援の充実

1. 「食」を通じた相談・生活支援の協力
2. 生活福祉資金貸付事業等による生活支援
3. 子どもの学習支援と居場所の支援

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

日野市子どもの学習・生活支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施し「ほっとも」の愛称で市内に4カ所設置しています。日野市社会福祉協議会は、主に七生中学校と平山中学校の学区を受け持つ「ほっとも南平」を運営し、4番目の開設となります。



フードパントリーへの協力

経済的事情等により生活が困窮している世帯に、食料を無償で提供するなかで、困りごとや悩みごとを適切な相談支援機関等につなげる活動です。NPO法人フードバンクTAMAが実施するフードパントリー事業を市内の社会福祉法人が「食の提供場所」として協力しています。



基本目標 2. 地域で支え合うまちづくり

施策（4）地域のたすけあいの輪づくり（重点）

1. ぷらっと南平をはじめとする、住民主体の地域の助け合い活動の支援
2. 様々な分野の居場所づくりの支援
3. 住民による高齢者の生活支援の推進
4. 地域介護予防活動支援によるまちづくり
5. 地域福祉コーディネーターの配置

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業



ひの健幸貯筋体操の普及

平成29年度から、「ひの健幸貯筋体操」の普及を行っています。ひの健幸貯筋体操は地域住民が自ら介護予防に取り組むための体操です。

地域福祉コーディネーターの役割

地域支援の役割

・地域課題の発見・サロン支援 など



個別支援の役割

・個別相談・対応 など

仕組みづくりの役割

・通いの場づくり など

施策（5）災害からいのちを守る顔の見える関係形成（重点）

1. 災害ボランティアセンターの運営の効率化
2. 災害時要配慮者への支援拡大
3. 地域の防災教育の推進
4. 防災に関するネットワークの構築
5. B C P（事業継続計画）の作成

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

日野市民でつくる防災・減災シンポジウム



自主防災組織などの市民が実行委員となり、毎年1回「市民による」「市民のための」防災を考えるシンポジウムを開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンラインで開催しました。

イザ！カエルキャラバン！

市内の保育園や小学校を中心に、子ども向け防災訓練「イザ！カエルキャラバン！」の開催支援を行っています。阪神淡路大震災をきっかけにNPO法人プラスアーツが開発したこの訓練は、大人も子どもも楽しみながら学べる内容となっています。



基本目標 3. 市民が主役のまちづくり

施策(6) 多様かつ柔軟な地域住民の活躍の場づくり

1. 潜在的なボランティアの発掘・育成
2. 市民と連携したまちづくりの推進
3. 多様な活躍の場の提供
4. 日野市内社会福祉法人の連携による地域貢献

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩）

近隣の大学（中央大学・明星大学・東京都立大学・実践女子大学・法政大学）の5大学および日野市とともに「多摩地区の大学と地域によるネットワークを形成し、大学生によるボランティア活動をサポートする事業を行っています。」



日野市内社会福祉法人ネットワーク



「地域における公益的な取り組み」を連携して活動するため「日野市内社会福祉法人ネットワーク」を立ち上げました。これまでに「社会福祉法人活用ガイドブックの作成」や防災・減災シンポジウムの共催、フードパントリーへの協力を行っています。

基本目標 4. ともに学び、学びを生かすまちづくり

施策(7) 知る・見る・学ぶの機会づくり

1. 「地域」や「福祉」を知る機会の充実
2. 多様な広報媒体の強みを生かした情報発信
3. 福祉体験講座による福祉教育の推進

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

地域共生社会を考えるシンポジウム

「地域共生社会の実現」に向けて、日野市内社会福祉法人ネットワークと共催で「地域共生社会を考えるシンポジウム」を開催しています。地域の福祉課題やその解消に向けた取り組みなどを地域の方々とともに考える機会づくりとしています。



福祉体験講座の実施



福祉の視点を育むことを目的に、小中学生向けに高齢者疑似体験や当事者による講話などの「福祉体験講座」を実施しています。地域に住む障害当事者や福祉施設、住民に協力をお願いするなど、地域がつながるきっかけづくりも行っています。

基本目標 5. 地域福祉活動を支える基盤づくり

施策(8) 福祉の仕事魅力発信と人材育成

1. 福祉事業者への就労支援の促進
2. 福祉従事者育成のための研修・講座の実施
3. 福祉の仕事の情報発信
4. 切れ目のない人材育成のための体制づくり

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

福祉のしごと相談会



東京都福祉人材センターやハローワーク八王子と共催で、「福祉のしごと相談会」を実施しています。求職者へ市内の高齢・障害・保育事業者へ就労支援を行い福祉人材の確保の機会として展開しています。

福祉人材育成研修

介護保険事業所など福祉施設で働く職員のスキルアップや就労定着のため、介護実技やケアプランをはじめとする研修会を開催しています。施設職員やヘルパー、ケアマネジャーなど、職種や階層に応じた研修内容となっています。



介護実技研修

施策(9) 持続可能な地域福祉活動の環境整備

1. 地域福祉活動を支援する助成の在り方の検討
2. 公的財源に頼らない財源確保の強化
3. 多様なニーズに対応する相談体制の構築

これまでの社協の取り組みやこれから充実・発展を図る事業

歳末たすけあいバザーの開催



歳末たすけあい運動の普及・啓発のため、日野市民生児童委員協議会と日野市赤十字奉仕団と共催で歳末たすけあいバザーを開催しています。当日の収益金は全額歳末たすけあい募金として、市内の地域福祉活動の財源として活用しています。

地域福祉活動団体への助成金交付

会費や共同募金などの寄附金を各種助成金の交付を行い地域で行う福祉活動の支援を行っています。サロン活動や外出活動支援補助、赤い羽根地域配分など対象や目的に応じて交付しています。



多摩療護園（赤い羽根募金地域配分を活用し利用者の和太鼓修繕費用を助成）

計画の推進体制と進行管理

○計画の推進体制

① 第4期日野市地域福祉計画との連携・協働

日野市が策定する「第4期日野市地域福祉計画」と理念や仕組み、課題を共有するなど、連携・協働していきます。計画の推進にあたり、「地域福祉活動計画推進会議」を設置し、日野市地域福祉計画の推進委員会と合同で実施するなど整合性を保ち、計画を推進していきます。

② ふくし住区や圏域単位での事業推進・継続

第4次日野市地域福祉活動計画で行ってきた「事業の推進エリア」を「設定した相談支援体制」の一層の推進に取り組んでいきます。事業・サービスごとに「推進エリア（市、圏域、ふくし住区、個別支援など）」を想定し、相互に連携することで重層的な支援の充実を図っていきます。

○計画の進行管理

本計画の進捗状況の管理・評価については、PDCAサイクルを導入して日野市地域福祉活動計画推進会議において、事業の進捗状況に応じて「報告・評価（提言）」を図ることで、適宜、計画の変更や事業の見直しなど改善を図ります。

PDCAサイクルイメージ



SDGs未来都市

地域発で持続可能な地域づくりを進め、モデルとなる取り組みを日本や世界に発信することを目的に、SDGsの達成に向けた取り組みを提案する都市を内閣府が選定する制度です。2019年度は日野市を含む31自治体が選定されました。



支援を必要とする人、したい人、地域に貢献したい人 福祉の事を学びたい人、福祉の仕事をしたい人 のご相談をお待ちしています！

これまで仕事で培ったノウ
ハウを地域のために役立て
られるだろうか？
どんなことでお役に立てる
のか！



地域や福祉のこと、ボ
ランティアについて知
りたい！学んでみた
い！体験してみたい！

◎活動事例

- ・ボランティア登録
- ・介護サポーター
- ・福祉体験講座
- ・傾聴ボランティア養成講座
- ・まち記者養成講座
- ・ひの筋サポーター養成講座
- ・手話講習会
- ・地域防災プログラム
(DIG・HUGなど)
- ・講演会・シンポジウム

ほか



◎活動事例

- ・介護予防教室の参加
- ・まち記者
- ・ひの筋体操サポーター
- ・ハンディキャブ
運転協力者
- ・ケアサービス協力会員
- ・傾聴ボランティア
- ・サロン立ち上げ・参加
- ・地区社協立ち上げ・参加
- ・手話通訳者
- ・市民後見人

ほか

講習会や講座で学んだ
ことで困っている人の
お手伝いがしたい。



自分にあった地域の活
動に参加したい、始め
たい。



福祉の仕事をしてみたい
けど、資格も経験ないけ
ど働けるのかな？どこか
で働けないかな…。



寄附金を地域のために役
立ててほしい！どこに寄
付すればいいの？そもそ
も、どんな風に使われて
いるんだろう？

◎活動事例

- ・福祉のしごと相談会
- ・福祉人材育成研修
(経営者・ケアマネ・
ヘルパー・施設職員)
- ・福祉の資格取得相談
- ・共同募金 (赤い羽根募金
歳末たすけあい募金)
- ・街頭募金ボランティア
- ・寄附の受付
- ・社会貢献型自動
販売機の設置

ほか

日野市社会福祉協議会のご案内

日野事務所（〒191-0011 東京都日野市日野本町7-5-23中央福祉センター1階）

総務係

◇TEL. 042-582-2319 FAX. 042-583-9205

- 手話講習会
- 福祉のしごと相談会
- 赤い羽根・歳末たすけあい募金(東京都共同募金会日野地区協力会・配分推せん委員会)
- 寄附・会費受付
- 車いす貸出
- ひの社協だより
- コミュニケーション支援（手話通訳者・要約筆記者派遣）
- 日野市内社会福祉法人ネットワーク

◇居住支援あんしん住まいの日野 TEL. 050-3537-5765（予約）
◇生活福祉資金の貸付相談 TEL. 042-586-3063

地域支援係

◇TEL. 042-584-1294 FAX. 042-582-0082

- 介護予防・フレイル予防推進
- サロン（交流ひろばcafé）
- 地区社協の運営支援
- 生活支援体制整備（協議体・生活支援コーディネーター）
- 地域介護予防活動推進（ひの健康貯筋体操）
- 地域福祉コーディネーター（地域担当）
- 子どもの学習・生活等支援「ほっとも南平」

◇福祉移送サービス ハンディキャブ TEL. 042-582-2320（予約）

ボランティア係

日野市ボランティア・センター

◇TEL. 042-582-2318 FAX. 042-582-0082

- ボランティアコーディネート
- 介護サポーター制度
- 傾聴ボランティア養成講座
- 福祉体験講座
- 障害者運動会
- 地域防災の普及活動（DIG・HUGなど）
- 生涯学習支援システムHi Know（ひのう）
- まちづくり人プロジェクト委員会
- みんなでつくる日野の防災プロジェクト

◎他団体との連携事業 ■まちづくり市民フェア ■まち活 ■みんなの友・遊ランド
■多摩地区の大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩） ■フードバンク&パントリー

高幡事務所（〒191-0031 東京都日野市高幡1011福祉支援センター2階）

在宅サービス係

◇TEL. 042-591-1567 FAX. 042-591-1573

- 在宅高齢者ケアサービス事業（家事援助、交流、研修）
- 高齢者食事宅配サービス事業（昼食弁当のお届け、見守り）
- 福祉人材育成（対象：経営・管理者、介護支援専門員、訪問介護員、福祉施設職員）
- 障害福祉人材育成（対象：障害福祉サービス従事者向け）
- 障害者就業支援連絡会への参加

権利擁護係

権利擁護センター日野

◇TEL. 042-594-7646 FAX. 042-591-1573

- 地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助・日常的金銭管理・書類等預かりサービス）
- 財産保全・管理サービスによる支援（財産保全サービス・手続き代行サービス）
- 成年後見制度の利用に関する相談・普及啓発（講演会・説明会等の実施）
- 成年後見人等のサポート
- 成年後見制度関係機関ネットワーク会議の開催



表紙デザイン

実践女子大学 生活科学部 生活環境学科

建築デザイン研究室 3年

畔蒜真由・金丸明日香・鈴木愛佑菜・林知恵美